



栃木県立足利南高等学校

平成28年度 総合学科通信 第2号

No.45

(2016/12/13発行)

40周年記念式典

「40周年の節目に」

11月10日、創立四十周年記念式典が挙行されました。本校の新たな門出にふさわしい式典であったかと思えます。特に、それぞれの持ち場での本校生の対応には、私自身大いに感心させられました。来賓の方々にも、本校が平成12年に総合学科となって以来、その教育が着実に成果を上げてきていることを実感していただけたようです。

今回の記念事業を振り返りますと、昨年度市民プラザで開催された、映画『心が叫びたがっているんだ』の40周年記念試写会に始まり、ラカンマキ（羅漢模）

の植樹、記念式典、記念公演と続きました。式典については、冒頭に述べたとおりですが、記念事業の最後を飾った桑山紀彦さんによる公演『地球のステージ』は、参観者全員に深い感銘を与えるものでした。公演終了後、たくさんの同窓会役員やPTA役員が、桑山さんを取り囲んで質問攻めにしていた様子が印象的でした。

さて、本年は、本校が新たな門出をするにふさわしい年となったようです。私たち職員も、そしてまた、在校生一同も、この清新な気持ちを忘れることなく、新しい伝統を築き上げていきたいと考えています。どうか、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

校長 柳沼 倫明



一日体験学習

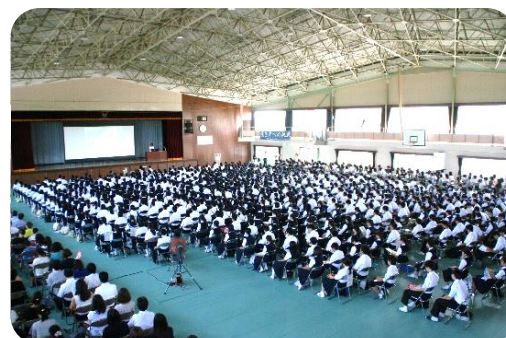
平成28年8月5日、本校で、中学生とその保護者に対して、1日体験学習を実施しました。本校の教育内容・進路状況・特色等を説明し、本校がどのような学校であるかを理解してもらうことによって、中学生が進路選択するときの参考にしてもらうためです。

天候にも恵まれた当日、足利・佐野を中心とした39校から、中学生556名、保護者248名が参加してくれました。昨年に比べて参加中学校数は4校、参加中学生数は201名、参加保護者数は80名と大幅に増加しました。年々、本校のありようが地域に理解され、関心が高くなっていることが伺えます。

最初に、第一体育館で全体会をしました。内容は総合学科紹介ビデオの視聴、教育課程や進路状況の説明、ホークスベリー高校との交換留学や東京インドネシア共和国学校との交流の概要説明、ライフプランの発表、卒業生による課題研究発表等でした。中学生は暑い体育館の中でも皆、礼儀正しく真剣に聴いていることに感心しました。

次に、人数には制限がありましたが、中学生には体験授業を受けてもらいました。英会話、繊維作り、陶器作り、黒みつ寒天づくり、名刺作り、日本舞踊の6授業に分かれて体験してもらいました。今年は中学生の熱意を受けて、受講者枠を増やしました。また、本校の特色である演劇Ⅱの模擬授業として新たに「日本舞踊」を新設して、中学生に本校生の日本舞踊を鑑賞してもらったり、扇子でのしぐさや着物の着付けを体験してもらいました。それぞれの体験授業を中学生は一生懸命に受講していました。保護者もそれを近くで微笑ましく見学していました。陶器作りを体験した生徒の中学校には焼き上がったものを後日、本校職員がお届けにあがりました。

教頭 伏木 克行



中学生にアンケートを実施したところ、学校・学科の教育上の特色や内容が「よく・だいたい理解できた」：99%、この一日体験学習が「大変参考になった」：83%という評価をもらいました。また、「総合学科なので、時間割を自分で決められるので、自分のやりたいことができると思った」「課題研究の発表がとても良かった」「国際交流に興味を持った。オーストラリアに行きたいと思った」「先輩方が優しくって親切だった」「他の学校とは違う特色があっていいと思った」等の感想がありました。

在校生達が、中学生とその保護者に対して準備の仕事、係の仕事、発表とそれぞれの立場で「おもてなし」の活動を立派に果たしたことが、中学生に好印象を与えたようです。



監督 谷 昌範

高校野球選手権栃木大会

第98回全国高等学校野球選手権栃木大会は、足利南高校野球部にとって歴史の1ページを刻む大会となった。創部以来初の夏ベスト8進出の功績を収めた選手12人、マネージャー1人のチームは、常に逆境に立ってきたからこそ夏の大舞台で力を発揮でき、日々の苦しい練習はいつか自信から確信へと変わった。お互いを叱咤激励し、支え合ってどんな苦難も乗り越え、最後の最後まで戦い抜いた。しかし、これは部員だけの賜物ではなく、保護者や学校をはじめ多くのサポートがあったからである。暑い夏に、熱い応援をしていただいた様々な方々にも厚く御礼申し上げますとともに、足利南高校野球部が、また近いうちに輝くことを期待していただきたいと思います。



ホークスベリー高校との交流

国際理解教育係 伊勢 孝和

「平成28年度 ホークスベリーハイスchool短期留学生受入プログラムについて」

平成28年9月18日から25日までの8日間、本校と姉妹校提携を結んでいるオーストラリア・ニューサウスウェールズ州のホークスベリーハイスchool訪問団が来校しました。生徒8名、教員・関係者3名計11名の皆さんには、本校での茶道や歌舞伎の授業への参加、剣道部やICE部との交流、ホストステudentとの授業への出席など、実際の日本の学校生活を体験していただきました。また、日光方面の遠足、足利市長訪問、足利学校・鋸阿寺観光、御厨小学校への訪問といった校外活動にも参加いただきました。短期留学生のホームステイを受け入れてくださったご家庭の皆様、各行事にご協力をいただいたPTA役員の皆様のご理解とご協力のもと、今回のプログラムが無事終了できたものと思っております。この場を借りてお礼を申し上げます。来年度は本校からホークスベリーハイスchoolに訪問する年です。これからもこの貴重な姉妹校交流が続くことを願っています。



第16回青南祭

3年4組 高橋 瑠巳（佐野北中出身）

2年に一度の青南祭が、9月2日金曜日（校内発表）と、3日土曜日（一般公開）に開催されました。両日とも晴天に恵まれ、多くの方々に訪れていただきました。一般公開は、前回に続きチケット制で行いました。私達自身がチケットを配るにあたって、一人ひとりが、ただ参加するのではなく、それぞれの役割や責任を自覚し行動できたのではないかと思います。

そして、チケットを受け取った人たちの、期待に応える学校祭になったのではないかと思います。また催し物を通して、クラスの絆や団結力が深まり、最高の思い出になりました。クラスだけでなく部活動や委員会、有志による発表も素晴らしく、足南生の活き活きとしたありのままの姿を見ることが出来ました。



修学旅行を終えて

2 学年主任 厚木 範之

「修学旅行 ～本州を飛び出せ！沖縄の歴史と平和について考え、仲を深めよう～」

総合学科16期生の修学旅行は9月28日（水）～10月1日（土）の3泊4日で実施されました。心配された天候もひめゆり資料館見学時に雨に降られたただけであとは晴天に恵まれ、生徒たちは楽しく過ごすことのできた4日間となりました。

1日目は、沖縄到着後、平和学習としてひめゆり資料館を見学しました。その後、一度ホテルに入り荷物を整理した後、国際通り班別散策に出かけました。沖縄初日の夕飯を思い思いの店で済ませ、土産を手にし、満足そうな顔で時間内に戻ってくることが出来ました。

2日目も引き続き平和学習を行いました。午前中、糸数壕とクラシンジウのガマ追体験を行いました。ガイドさんの誘導のもと暗闇の中をライトの光をたよりに足下と頭上に気をつけながら奥へ奥へと進んでいきました。日中太陽の下歩くことが当たり前と思っていた生徒たちには信じがたい当時の状況を体験することが出来ました。体験後は、平和祈念公園内のホールにて新里スエさんの平和講話を聴き、生徒たちが学校祭後から折りはじめてきた千羽鶴と花を捧げ改めて平和への誓いを確認しました。

昼食は、サンシンライブショーを楽しみながらとりました。生徒たちの「イーヤーサーサー」のかけ声も大きく、普段もこのくらいで校歌を歌ってもらえたらと思うくらい見事なものでした。昼食後は沖縄国際大学へ向かい『スマイライフ基地のある日常』というプログラムを行いました。沖縄大屋上からの天間基地の展望や、ヘリ墜落現場モニュメント、嘉数高台を沖縄国際大学生と一緒に見学し、最後には大学で意見交換会を行いました。戦争や沖縄の基地問題について、そして平和の大切さとそのありがたさについて生徒たちは大いに考えさせられたようです。

3日目は生徒たちが楽しみにしていた体験学習が行われました。マリン体験ではシュノーケリング+バナナボート、シーカヤック+バナナボート、そしてイノー自然観察さらに文化体験としてシーサー作りと沖縄伝統菓子作りが行われました。昼食はバーベキューを楽しみました。ひたすら肉や野菜を焼く生徒、盛り付ける生徒、ひたすら食べる生徒と様々でしたが、クラスみんなで協力して食事を楽しめました。その後、美ら海水族館を訪れました。時間的にジンベイザメの餌付けやいるかショーも楽しむことができました。

最終日の4日目は首里城公園を見学し帰途につき無事に学校に戻りました。

今回の16期生の修学旅行は本当に天候に恵まれすべてほま予定通りに過ごすことが出来ました。事後アンケートでは盛りだくさんすぎて時間に余裕が持てなかったという声もありましたが、戦争と平和についていろいろ考えさせられた、命の大切さや平和という言葉の重みやありがたさを感じることができた、楽しい4日間を過ごすことができて、とても思い出となり、クラスの人たちと仲良くなれたという声も多々ありました。将来、生徒たちがこの4日間で感じた平和のありがたさ、戦争の悲惨さをもとに平和社会をきっと築いていけるとと思います。そして3泊4日の修学旅行での経験を今後の高校生活に役立てていてもらいたいと思います。

「修学旅行で学んだこと」

2年4組 飯塚 彩華（山辺中出身）

私たちは沖縄で学習したこと、体験したことがたくさんあります。

まずは沖縄国際大学の「スマイライフ基地のある日常」です。印象に残ったのは嘉数高台に到着して三つの塔の説明を受けた後のトーチカという小さなガマに似たようなものです。戦争をしていた当時は、トーチカの中に少年兵が入り、丘に進軍してくる米兵を銃で撃ち殺していたという話でした。昔このトーチカが作られた頃は真四角だったはずのコンクリートが、戦車や敵の銃からの被弾で基盤の鉄骨が見えたり銃の後が生々しく残っていました。戦いは2週間に及び、この丘は激戦区だったと聞きました。陸軍と少年兵たちが力を合わせて日本のために戦ったと思うと胸が痛くなりました。

その後、展望台から沖縄を一望して大学に戻り、沖縄国際大学の学生と意見交換をしました。私は基地が近くにあることの悪影響の有無について質問してみました。その学生は基地周辺に住んではいなかったのですが、聞いた話だそうです。「夜にはドラマなどを見ている時に音が聞こえない、飛行機が近すぎると電波が悪くなる、夜は眠れない。」などが挙げられるそうです。

今回の修学旅行を通して平和や歴史についてよく考え、理解することができました。とてもよい経験でした。ひめゆりの塔、平和講話、ガマ体験もためになるものでした。この3泊4日は楽しく学習できて充実した修学旅行でした。



ハーフマラソン大会

保健体育科 長竹 康人

11月18日（金）第17回足利南高等学校ハーフマラソン大会が開催されました。今年度も天候に恵まれ、無事に実施することができました。

上位入賞は運動部に所属している生徒の活躍が目立ちました。途中、体調不良で棄権をする生徒が数名出てしまいましたが、大事には至らず456名の生徒が無事に完走しました。一人ひとりの生徒たちがそれぞれに充実感や達成感を味わったことと思います。

最後になりますが、PTA 会長をはじめ今年も多くの保護者の方々のお手伝いをいただき、大きな事故もなく無事に大会を成功させていただきましたことを心からお礼申し上げます。

また、大会結果は以下の通りとなっています。

出走人数：461名 ※途中棄権も含む
出走率：93.9%



【個人成績】

○男子の部○ 完走者数：141名

順位	クラス	氏名	記録
1	2-3	齋藤 玲唯士	1:21:45
2	1-3	上野 和輝	1:23:44
3	2-2	新井 一貴	1:26:04
4	1-2	清水 亮	1:30:03
5	3-3	植木 優太	1:30:42
6	2-4	岩澤 伊織	1:31:40
7	2-2	川鍋 和哉	1:32:41
8	2-2	根岸 啓明	1:32:56
9	2-4	須永 湊太	1:33:34
10	1-3	藤倉 蓮	1:35:02

○女子の部○ 完走者数：315名

順位	クラス	氏名	記録
1	1-2	伊藤 瑠菜	1:41:32
2	1-1	山口 月菜	1:46:21
3	2-3	高瀬 弥生	1:48:56
4	1-4	新濱 杏奈	1:50:47
5	1-4	北岡 のぞみ	1:50:48
6	3-5	加藤 唯	1:57:19
7	3-3	福田 珠里	1:57:20
8	2-2	佐藤 ふたば	2:00:45
9	3-5	初谷 ほのか	2:01:26
10	2-2	小林 悠加	2:03:19

【総合成績】

総合順位	クラス	クラス平均タイム
1	2-1	2:56:18
2	2-2	2:58:49
3	1-4	2:59:32



発行：栃木県立足利南高等学校

教務部広報係

TEL：0284-72-3119（事務室）

FAX：0284-73-2772

TEL：0284-72-3118（職員室）